

審議会等の会議の記録

会 議 の 名 称	令和8年度第1回伊勢崎市子ども・子育て会議
開 催 日 時	令和8年7月7日（火） 午後2時00分から午後3時00分まで
開 催 場 所	市役所本館5階 職員研修室
出 席 者 氏 名	【委員】 平林委員、土井委員、横町委員、鈴木委員、本多委員、関根委員、柳澤委員、新井委員、小暮委員、佐野委員、織田委員、黒澤委員、荻原委員、狩野委員、西川委員、長沼委員 【関係者】 株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所 まちづくりプランナー 野口 志朗 【市職員出席者】 井田福祉こども部長、柿沼福祉こども部副部長、二上子育て支援課長、諏訪課長補佐、岡本係長、谷主査 こども保育課 堀込課長、渡邊課長補佐、工藤係長
傍 聴 人 数	0人（公開）
会 議 の 議 題	(1) こども計画の策定に向けたこれまでの取組について (2) 特定教育・保育施設の利用定員削減について (3) 令和8年度 就学前教育・保育施設整備交付金の国庫補助に係る施設整備計画について
会 議 資 料 の 内 容	資料1 こども・若者の意見聴取の概要と結果 資料2 いせさきユースミーティング 実施報告書 資料3、4 特定教育・保育施設の利用定員削減について 資料5 令和8年度 就学前教育・保育施設整備計画

会議における
議事の経過
及び発言の要旨

会議の経過は以下のとおり

《 1. 開 会 》

(事務局) 開会及び会議の出席者の報告

《 2. 挨 拶 》

(会長) 挨拶

《 3. 議 事 》

(1) こども計画の策定に向けたこれまでの取組について
(事務局) 資料1について説明

(受託事業者)

資料2について説明

(委員)

こども計画の策定に向けて、こどもや若者の意見を聴く場を設けるのは大変素晴らしい取組だと思う。計画策定のためだけにやるのではなく継続的に取り組んでもらえるとありがたい。

全体を見たが学校の話題が出なかったのが引かなかった。子ども達の生活の大部分を占めるのが学校だと思うので、その部分で子供たちの意見だとかそういった生の声が入ってくるともっと良かったのかなと思う。

私の頃はいじめというと暴力や悪口等が一般的だったが今はSNSや大人の目に触れないようなネットツールを使った場面で起きていることが多いと聞くので不登校やそういった問題をどのように解決していくのか、どうやってセーフティネットを整備していくのかが大きな課題になると思う。

ここに参加した子ども達には敬意を表する次第だが、非常に意識の高い子ども達だと思うのでこれを継続して裾野を広げていくことが明るい未来を創る子ども達に資することに繋がると思う。

(会長)

学校はこども達が長く過ごす場所だと思うが、この辺りは事務局としてはどのように考えているか。

(受託事業者)

学校関係というまとめ方はしていないが似ている部分はある。資料2の4ページの④学びの環境についてだが経済的な事情で学費を下げてほしいといった意見や校則関係、ルールについての意見は出ていた。

今回はチラシを見たりして興味を持って応募してくれる優等生のような子どもが多い傾向はあると思うので、そうではない学校に馴染めない子どもであったり量的に埋もれがちな子どもから意見を聴く場を設けるといった視点は大事だと考えている。

(会長)

モニターを募集しても手を挙げられない子ども達が一定数いると思うのでそういった子ども達の意見をくみ取ることが計画を策定するにあたり今後は重要になってくると思う。

(2) 特定教育・保育施設の利用定員削減について

(担当課) 資料3、4について説明

(委員)

ガイドラインのAの基準①だが令和9年度の定員削減ということで令和7年度の入所者数を下回らないことが条件になるのは何故なのか。

(担当課)

ガイドラインを策定するにあたり他自治体を参考にしたが多くの自治体で直近3か年の平均値等の数字を下回らないことを基準としているなか、伊勢崎市では確定値として7年度3月入所者の数字を利用している。

令和7年度3月入所者数を基準としても十分に定員削減が出来る状況だが、こちらで対象の施設を決めるつもりはなく未来に向かって定員を削減するのではなく現状で利用者が減っているから削減を進めていくという考え方で進めていく。

(委員)

7年度は定員を満たしていて8年度は10人減るなど定員数と乖離がある場合に、後半になって増える可能性もあると思うが10月に9年度の募集が始まった時にあまり申込みがなかったとしたらそれは対象にはならないという考え方でよいのか？

(担当課)

将来的に利用者が減るからそれに併せて定員を減らすのではなく、現状伊勢崎市の中で定員が割れている施設について一旦減らしていくという考え方。なので7年度に定員割れをしていなければ8、9年度に相当程度定員を割らない限りは時期尚早かと思う。

(委員)

8年度に急激に利用者が減って、9年度の募集をかけても人が集まらなると大変だというのが感覚としてある。

(会長)

ばらつきが出てくると思うが委員の園はどうか。

(委員)

保護者からの人気の有無や地域差もあるのでばらつきはある。新しく住宅が出来る旧東村辺りは一杯で入れない。私の園は旧伊勢崎で隣り合っているので東で入れないのでここに入れなかと問い合わせを受けることが多い。ただ私の園も定員ギリギリなので一応申し込むよう言っているが、地域によって違うと思ってほ

しい。本当に定員割れしてて困っている園もあるのは確か。

給付費が定員で額が決まりそこから掛け算をすることになるが、人数によって金額が大きく変わってきてしまうので相当困っている園もある。

もう一つ聞きたいのは定員削減について毎年見直しをするのは可能なのか。とりあえず9年度という話か。

(担当課)

定員削減については年度で区切るものではないと考えているので毎年考えていく。今の保育園は0歳児の定員が少なく年齢が上がるに従い定員も増えているが、保護者の多くは1歳児位から利用したいので1、2歳児は大体申し込みがある。そうすると1、2歳児は入れないが3、4歳児の定員は空くという現状があるのでまずはその差を無くしたい。その上で我々としては0、1歳児については定員を上げたい。

(委員)

2号認定についてということか。

(担当課)

2号認定については基準Aになる。ただし地域によっては基準Bのところもあるので案として示している。

(委員)

分かりました。

(会長)

園や地域によってばらつきもあると思うので伊勢崎市としても大変だと思うが皆さんの意見を聴いて保護者の負担にならないように定員の数を見直し、園の経営とのバランスも考えながら会議で話していきたい。

(担当課)

定員削減というと保育園に入り辛くなるのではないかという意見も出てくると思うので、そういった点については丁寧に対応しつつ保育園に入れないといった事態が生じないように進めていきたい。

(会長)

一概に減らすというと保護者も驚くと思うが皆さんはどう思うか。

(委員)

世の中では保育園に入れずに困っている人もいるというニュースも聞くので定員削減について丁寧に説明した方が市民も安心するのではないか。

(会長)

市民へのお知らせなどは丁寧にすることで理解も得やすいと思うのでしっかりとお願いしたい。

	(3) 令和8年度就学前教育・保育施設整備交付金の国庫補助に係る施設整備計画について (会長) こちらの議題については国への協議に先立ち、審議会等で整備計画について承認をいただくことが条件となっている。 (担当課) 資料5について説明 質疑等なし。 (会長) 質問や意見が無いようなので、(3)令和8年度就学前教育・保育施設整備交付金の国庫補助に係る施設整備計画については提案のとおり決定とするが異議等はあるか。 異議等なし。 (会長) 無いようなので承認とする。 《 4. その他 》 (事務局) 今回の会議は令和8年9月下旬～10月上旬を予定している。 正式な開催通知は後日送付する。 《 5. 閉 会 》
--	--